

Designer r34.1.3 Release Notes

r34.1.3 Full (Pro) をダウンロード

Full (Pro) build: 266395

Starter build: 266396

Released: 2026年10月7日

● が付いた項目は [r32.4.19](#) にも含まれています。

改善

- **DSOF - 33644** - コンテンツが割り当てられていないなどの理由で、プロジェクターがシミュレーションキャプチャに光を寄与していない場合に、OmniCal がそれを報告するようになりました。

修正

- **DSOF - 33754** - RenderStream の非圧縮メタデータが届かなくなったときに、Designer が数十秒間フリーズすることがなくなりました。
- **DSOF - 33949** - RenderStream の非圧縮レイヤーに再度入ったときに、レイヤーが非アクティブだった時間の長さにかかわらず、レンダーノードの画像が直ちに表示されるようになりました。
- **DSOF - 33654** - RenderStream のワークロード開始時に、Designer が「Received image data before the corresponding metadata」を報告したり、フレームをドロップしたりすることがなくなりました。
- **DSOF - 33520** - 大規模なショーで、プリフェッチを必要としないレイヤーのプリフェッチ処理にフレームタイムが費やされることがなくなりました。
- **DSOF - 34005** - GX 3 および GX 3+ マシンでフィード設定を適用すると、3840x2400、60 Hz、10 bit の出力を再び正しく構成できるようになりました。
- **DSOF - 33323** - OmniCal のプロジェクタースタッキングシミュレーションがセカンダリプロジェクターのデータをキャプチャするようになり、スタッキングワープが正しく計算されるようになりました。
- **DSOF - 33756** - OCIO カラーマネジメントを使用するプロジェクトに再参加しても、ウィンドウのピン留めが解除されなくなりました。
- **DSOF - 27948** - 一部の FPS 構成でフレームがスキップされることがなくなり、RenderStream のテクスチャパラメーターが常にすべてのフレームをレンダーエンジンに正しく渡すようになりました。
- **DSOF - 33026** - プロジェクトのリフレッシュレートをフルフレームとドロップフレームのフレームレート間で変更した場合でも、フレームグリッド上に配置されたレイヤー、キーフレーム、キューがグリッド上に留まるようになりました。
- **DSOF - 33861** - 29.97 fps、59.94 fps、23.976 fps などの NTSC レートのタイムラインで、セクションブレイクとビデオレイヤーの境界がプロジェクトのフレームグリッド上により確実に配置されるようになり、特に非常に長いタイムラインにおいて、期待どおりのフレームが表示されるようになりました。
- **DSOF - 33723** - レンダーエンジンが一時的に空のシーンリストを報告した場合に、RenderStream が非圧縮ビデオ入力を数秒間黒くすることがなくなりました。
- **DSOF - 34084** - マルチマシンセッションをまたぐ大量のメディア変更を Designer がはるかに高速に処理するようになり、長時間応答しなくなる問題が軽減されました。



- **DSOF - 33129** - フィード設定の適用中に、Designer が「d3 service not responding」通知をまれに表示することがなくなりました。
- **DSOF - 34018** - VFC カードが搭載されていない GX 3+ 上の新規プロジェクトで、フィードビューが空の VFC スロットを正しくレイアウトするようになりました。
- **DSOF - 34087** - コンテンツを必要としないディスプレイについて、フィードビューが **Export Compositor Frame** をグレースアウトするようになりました。
- **DSOF - 33084** - Blur レイヤーに球面や円筒などのジオメトリックマッピングを作成したときに、Designer がエラーを発生させることがなくなりました。
- **DSOF - 31398** - DMX スクリーンを作成したときに、Designer がエラーを発生させることがなくなりました。
- **DSOF - 33698** - プロジェクタースタックから複製したセカンダリプロジェクターを削除しても、元のセカンダリプロジェクターがメインプロジェクターから切り離されることがなくなりました。
- **DSOF - 33936** - カメラの重なりが不足して camera graph が分断されている場合に、OmniCal が警告を表示するようになりました。
- **DSOF - 34080** - カメラの名前を変更すると、OmniCal の **Plan Camera Stats** リストが直ちに更新されるようになりました。
- **DSOF - 33960** - OmniCal のカメラ検出が Allied Vision Camera Simulator を無視するようになり、VimbaCamServer のログがエラーで埋まることがなくなりました。
- **DSOF - 33995** - OmniCal カメラのストリーミングが停止したときに、VimbaCamServer が誤ったエラーを記録することがなくなりました。
- **DSOF - 33999** - OmniCal カメラが 100 Mbit/s で接続されている場合に、VimbaCamServer が明確に警告するようになりました。